

家畜保健衛生所情報

令和6年8月30日

豚飼養農家
の皆様へ



新潟県の養豚農場で豚熱発生

令和6年8月14日、新潟県新発田市の養豚農場（約450頭飼養）において、豚熱の患畜が確認されました。養豚農場での豚熱の感染確認は国内で93例目、新潟県では初めてです。豚飼養農家の皆様は、飼養衛生管理を徹底するとともに、早期発見のために毎日しっかり観察してください。

発生予防のポイント

- ☆畜舎周囲や農場外縁部への石灰散布
- ☆畜舎や飼料庫等の清掃や整理整頓
- ☆いのしし、ねずみ等の野生動物侵入対策（防鳥ネット、防護柵など）
- ☆食品残さの適正使用（畜産物を含む場合は90℃以上60分以上の加熱）
- ☆畜産関係者の海外渡航の自粛、関係者以外の農場への立入禁止

牛飼養農家
の皆様へ



韓国の牛農場でランピースキン病（LSD）発生

令和6年8月12日、韓国京畿道安城市の韓牛農場（約80頭飼養）において、ランピースキン病（LSD）の感染が確認されました。韓国では昨年10月の本病発生後に、国内で飼養中の全ての牛に対してワクチン接種が実施され、同年11月には接種が完了していました。今回の発生は、全頭ワクチン接種が完了して以降、初めてのLSD発生です。牛飼養農家の皆様におかれましては、韓国への不要不急の訪問を控える等、本病の侵入防止に努めるとともに、疑わしい症状を発見した場合はすぐに家畜保健衛生所にご連絡ください。

症状・侵入防止対策については裏面をご確認ください！

 大阪府家畜保健衛生所 〒598-0048 泉佐野市りんくう往来北1-59
 TEL 072-458-1151 FAX 072-458-1152

ランピースキン病

MAFF
農林水産省

国内への侵入リスクが高まっています

Point

ランピースキン病は、ランピースキン病ウイルスによる牛の伝染病。主に、蚊、ハエ、ダニの媒介による機械的伝播や、感染した牛の移動により感染が拡大します。感染した牛は、全身の皮膚の結節や水腫、発熱、泌乳量の減少などの症状を呈し、生産性に影響を及ぼします。

ランピースキン病を疑う症状

発熱、鼻汁
皮膚の結節
泌乳量の低下
リンパ節の腫大



疑わしい場合は
直ちに連絡！



写真提供：モンゴル国中央獣医学研究所
(State Central Veterinary Laboratory in Mongolia)

ランピースキン病の侵入防止対策

01 毎日の健康観察

早期発見・早期通報が重要。
疑わしい牛は隔離し、牛の導入、
出荷、移動時は健康観察を徹底。



02 害虫の駆除

殺虫剤の散布とともに、
粘着シート等も活用。



03 清掃・消毒

衛生管理区域内の整理整頓を徹底し、飼養管理に使用する器具や畜舎等の施設は清掃と消毒を実施。